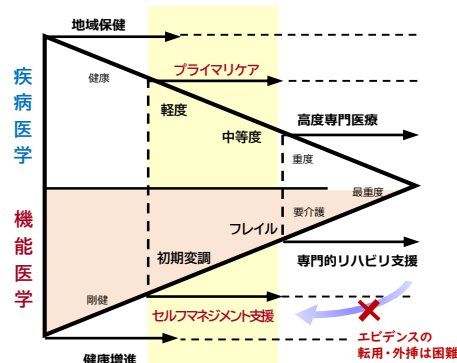
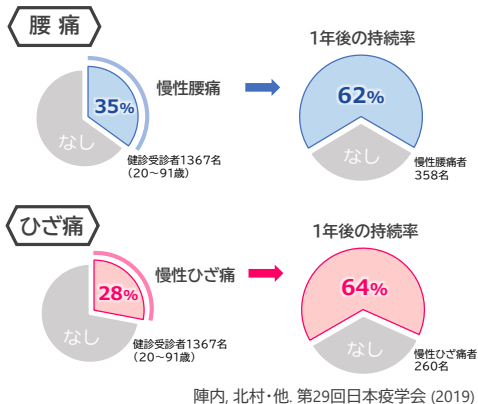


当院における総合診療リハビリテーションでは地域での実践活動の成果を外来に応用しています

地域課題

慢性腰痛・ひざ痛を抱える人は多いが、医療は十分に対処法を伝えきれていない。

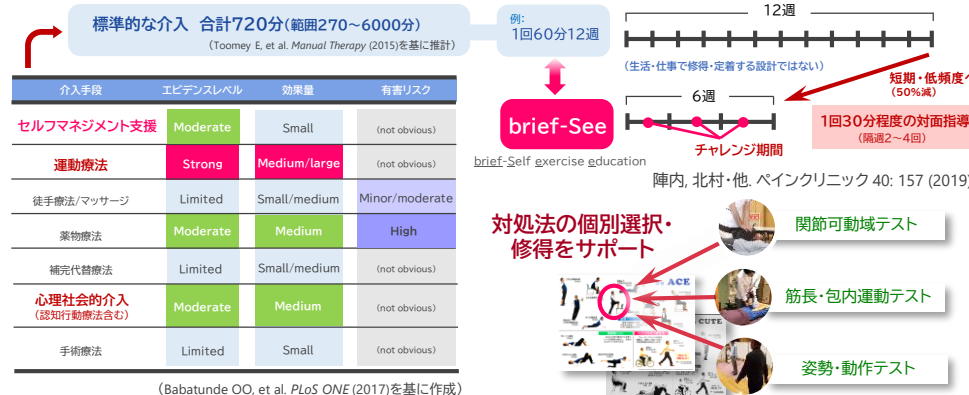
- 1) 腰痛・ひざ痛は地域住民の3割で認め、うち6割は次年度まで持続する。
- 2) 軽症～重度の自己対処・管理法をサポートする予防支援が不足している。



研究課題

標準的介入と教材介入の中間的な教育支援を提唱・開発した。

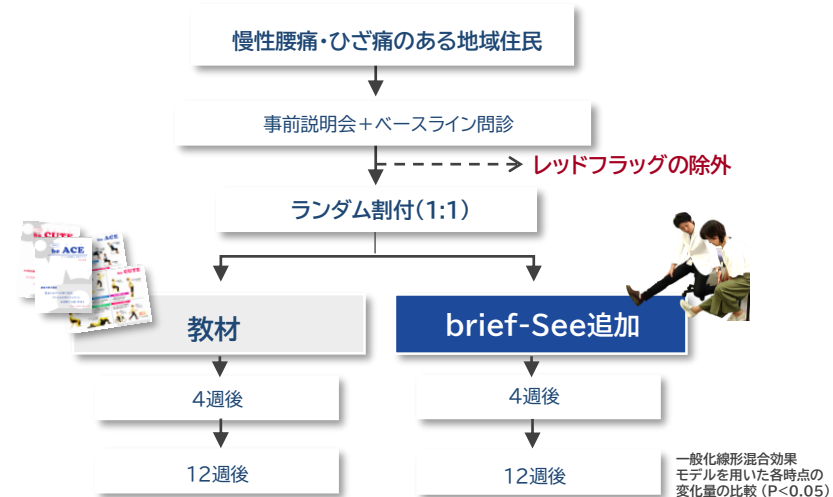
- 1) 標準的介入の提供時間は長く、提供時間と効果の関連はあいまい。
- 2) セルフマネジメント支援に特化した短期・短時間の運動療法を標準化した。



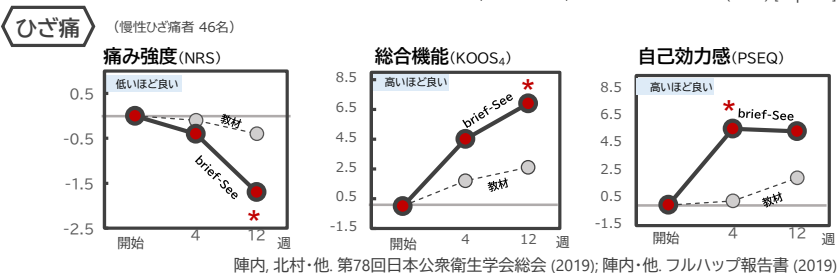
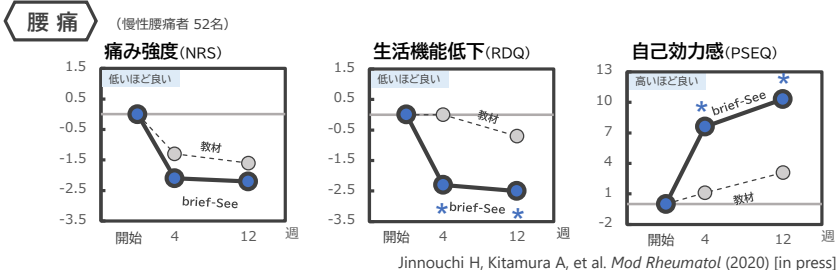
地域における実践的な効果検証



一般住民健診への実装を想定したランダム化比較試験を計画・実施した。



Jinnouchi H, Kitamura A, et al. Spine Surg Relat Res 3: 377 (2019)



慢性腰痛・ひざ痛を抱える人は多いが医療のみでは十分対応できていない実状から、標準的介入と教材介入の中間的な指導方法を提唱・開発し、有効性と安全性を確認しました。一般化と普及に向けて、総合診療リハビリテーションとして提供を開始しました。